

令和6年度 第1回小淵沢地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年5月14日(火)  
午後7時00分開会～午後8時45分開会
- 2 開催場所 生涯学習センターこぶちさわ 軽運動場
- 3 参加委員 仁科浩一、小黑晃、中山宏樹、仁科陽一、宮沢俊彦、  
岩波光代、藤代富美男、今井一夫、茅野秀明、佐野恭子  
深澤久、坂本秀樹
- 4 欠席委員 茅野博文、茅野キヨ子、清水俊一、金丸哲也
- 5 事務局員 小淵沢総合支所長 河手 貴  
地域市民課長 宮川 勉  
地域市民課市民担当Ⅰ 坂本 誠  
地域市民課市民担当 八巻 卓史
- 6 議 題 (1) 地域委員会の内容について  
(2) 小淵沢地域委員会予使途提案事業について  
(3) 地域委員会研修について  
(4) 地域委員会だより編集委員選出について  
(5) その他
- 7 公開・非公開の別  公開 ・  非公開
- 8 傍聴人数 0人
- 9 署 名 署名委員 1番 \_\_\_\_\_  
署名委員 2番 \_\_\_\_\_

## 1 開会

## 2 小淵沢総合支所長あいさつ

## 3 地域委員及び職員紹介

※資料名簿により紹介

## 4 役員選出

(事務局) 昨年度、年度途中で体調不良により会長が辞職しました。副会長さんも団体から選出という形の中で、任期が終了しております。このため、本日は正副会長を決めていただきたいと思います。

設置条例第7条により、会長は委員の互選によることとなっております。会長の互選について選考方法をお諮りします。

(委員) . . . 特になし . . .

(事務局) どなたか会長をぜひという方、いらっしゃいますか？

(委員) . . . 特になし . . .

(事務局) もしなければ推薦という方法でもよいのでよろしくお願いします。

(委員) 推薦の弁として一言申します。私も委員を数年やらせていただいております。これまでいろいろなイベント・事業を見てきましたが、やはり経験豊富な方で、ぜひ熱意のある方にしていただきたいと思います。

ちょうど私の隣におります藤代さんを会長に推薦します。私と同じぐらい地域委員に在籍していて、いち早く地域委員の存続に行動してきた1人であります。また地域委員も委員会も今、非常に問題といたしますが、今後の存続について、色々な会議の在り方とか、方向性を決定していく非常に大事な時ではないかと思えます。そんな中、使命感の強い方、小淵沢地区の代表として市へ提言できる方とっておりますので会長に推薦したいと思います。

また団体選出の方も、いるわけですが、先ほどお話を伺うと任期がネックになるということと、各団体の要職をされているという話の中で、やはり今、学識経験者の中で私なりに考えさせていただいたところで、よろしくお願いいたします。

(事務局) 今、藤代委員を会長にご推薦いただきました。その他意見はありますか。

(委 員) . . . 異議なし . . .

(事務局) なければ推薦のありました藤代委員の会長について、拍手をもって承認をお願いします。

(委 員) . . . 拍手多数 . . .

(事務局) 拍手多数と認められました。

続きまして、副会長についてご意見をお諮りしたいと思います。

皆さん、副会長につきましてご意見ありますでしょうか？

(委 員) . . . 特になし . . .

(事務局) また副会長をやっていただける方、ぜひご挙手の方をよろしく願いいたします。

(委 員) . . . 特になし . . .

(事務局) 皆さん、もしなければ、会長一任よろしいでしょうか？

(委 員) . . . 異議なし . . .

(事務局) それでは会長よろしくをお願いします。

(会 長) 雷が落ちた方というのはこういうことを言うのでしょうか。小淵沢に住民票を移して、かれこれ20年になります。この町は好きです、篠原も好きです。皆さんの活動を拝見しますと大変素晴らしい活動をされていることを、常々感じています。今回このような大役を仰せつかって、誠に身の締まる思いです。地域委員会は、皆様のご協力があって成り立つものだと思いますので、ぜひご協力をお願いします。また副会長は会長一任とのことで、実はこちらに来てからからずっといろいろな所で、顔を拝見していた方がいらして、いつもここに来て拝見をしている方がいらっしゃいます。

ご本人にはまだ何も申し上げていないのですが、商工会の宮沢さんに、もし差し支えなければ、私と一緒に運営を担っていただけないかと思っておりますがいかがでしょうか、というかぜひお願いしたいです。皆様もどうでしょうか。

(委 員) . . . 拍手多数 . . . 特に異議なし . . .

(事務局) ありがとうございます。皆さんそれでは会長に名簿9番の藤代様、副会長に6番の宮沢様を新役員の代表として、ご承認してよろしいでしょうか。拍手をもってご承認をお願いいたします。

(委 員) . . . 拍手により決定 . . .

(事務局) ありがとうございます。賛成多数と認められましたので、決定させ

ていただきます。それでは会長と副会長につきましては、席の方に移動をよろしく願いいたします。

## 5 会長あいさつ

(事務局) それでは新役員を代表しまして、藤代会長様からご挨拶をいただきその後、宮沢副会長様につきましては最初にご紹介がされていませんでご紹介を兼ねて副会長挨拶をよろしく願いします。

(会長) それでは改めまして皆さんよろしく願いいたします。先ほどもお話がありましたように、地域委員会は、荒波に乗っかっているような状態かなと思います。残念ながら今日も4名の欠席の方がおられて、やはり今の地域委員会の位置が何となく想像できます。

あと令和7年度までというのが、現在の状況だと思いますので、こういう中でどういう風にこの地域委員会を進めていくか、小淵沢のまちを設置条例に書いてあります、よりよい住みやすいまちにするために、私達地域委員会は、何が出来るかということを考えながら、皆さんと一緒に進められたらと思います。

なかなかできるものも少ないと思います。会議も昨年度1年間最低でも1年間やってらっしゃる方が多いようですが、4名の方は新しい方と思いますが、やや形骸化しているというふうな実態だろうと考えております。同じような気持ちでいらっしゃる方も、多いかと思っております。ぜひそれを少しでも実りあるものにできたらと思います。

皆様のご協力をよろしく願いしてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

(副会長) 私は地域委員会も長いわけですが、いろんな形で協力できたかどうかは、ちょっと自分でもわかりません。

今回いろんな形で前会長さんのこともございましたし、私の方もいろんな形で話は聞いていますが、藤代会長が今度やっていただくとのことで、多少力になってあげられればいかなとそのように思っております。また一つ皆様のご協力をよろしく願いをいたしまして、挨拶とかえさせていただきます。ありがとうございます。

(事務局) ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

早速ですが議事に入らせていただきます。北杜市地域委員会設置条例第8条2項により、会議の議長は会長が務めると定められておりますので、議題の進行につきましては藤代会長にお願いしたいと思っております。

(議長) それでは早速議事を進めさせていただきます。皆さんから活発なご意見をいただきながら、できるだけ有意義に、進められたらと思います。時間も限られていますのでそこら辺も考慮しながら進めさせていただきます。この会議は毎回のことですが、北杜市議審議会の会議の開催に関する要綱第2条、公開に基づいて開催されています。本日の議事内容については、非公開の案件は含まれておりませんので、公開とすることになりますがよろしいでしょうか？

(委員) . . . 異議なし . . . 。

(議長) はい反対意見がないということで公開させていただきます。ありがとうございます。次に本日の議事録の署名人を指名させていただきます。本会については番から順番になりますので、一つよろしくお願いいたします。

1番の仁科委員、2番の黒委員にお願いいたします。

なお質問ご意見等につきましては案件ごとに受け付けますので、その都度確認の上説明いただいておりますよろしくお願いいたします

議題の1に入りたいと思っておりますので事務局の方からご説明をお願いします。

## 6 議題

(事務局) はいそれでは議題の(1)地域委員の内容について説明させていただきます資料の8ページの方をご覧ください。

新たに地域委員さんになられた方もいらっしゃいますので、この8ページについて説明させていただきたいと思っております。新たに地域委員会に任命された皆様は、これから令和7年3月31日もしくは団体の任期終了のどちらが早い日まで委員をお願いすることになります。

それでは地域委員会の目的や活動について若干説明いたします。地域委

員とは市民と市が協働してよりよい地域作りを行っていくため、地域の皆様の知恵の創造の場として、8町の地域にそれぞれ16名以内の委員で構成されています。

地域委員会は地方自治法に基づく附属機関であり、性格的には市民及び定義の機関として位置づけられていることから、法律に規定されている執行機関である市長や議決機関である議会や議員の権限を侵さない範囲で地域住民の声を行政に反映する仕組みを備えています。具体的な内容としましては、市長が諮問する事項を審議し、答申すること。市が処理する事務に関する事項について市長に意見を述べること。市長の定める予算の範囲において、各地域の事務に係る予算の用途案を決定すること。当該区域内外に係る市長が諮問する事項について、審議し答申することとなっております。

新委員の皆様にはこれまで培った地域の個性や特性の確保・発展のため、各地域委員会の活動につきましてご理解ご協力をお願いいたします。

地域委員会の報酬ですが、委員報酬は委員年額4万円、会長年額4万4000円となっております。ただし年度途中の場合は日割りになります。報酬は各年度末にお支払いいたします。お支払いに際しては報酬振込依頼書、口座情報、マイナンバー提供のご提供いただくこととなりますので、あらかじめご承知をお願いいたします。

昨年に引き続いての地域委員会の皆様につきましては報酬振込依頼書の提出は必要ありませんが、今年度から地域委員さんになられた方につきましては、お手元に地域委員報酬振込依頼書を配布させていただいております。

こちら振り込みが来年の3月ということになりますので期限は特段設けておりませんが、またこちらの提出もよろしくをお願いいたします。マイナンバーにつきましては事務局で調べたところ、皆様既にご提出されていますので、こちらの口座へ振込依頼書だけ提出をよろしくをお願いいたします。議題の(1)地域委員会の内容についての説明は以上になります。

(議長)      ありがとうございます。それでは今の説明について委員の皆さんからご意見質問がありましたら。

(委員) 地域委員のあり方ということで先ほど会長さんから話があったように、地域のあり方が見直されて変わってくるといったことで、令和4年に方針が出され、昨年それをやっていくということで、今年は非常にこのことを議論しなきゃいかんということで、議事録にもありますように1時20分、皆さんがかつてないほど意見が出たことを記憶しております。

質問は予算関係を昨年見直し、いい形になって会長さんからも言われましたが、今現在、行政の方が考えている地域の今のあり方、今後の方針、それから今後何を市長が諮問する予定か、一番これが大事で我々がそれをベースに議論を進めると思うので、その点について予定されているものと、考える方について、市長の方の対応にも、いろんな委員が質問しましたけどその点、簡単に紹介をお願いしたいと思います。

(事務局) 新しい組織につきましては現在、細かいところの部分まで、皆さんにご説明する部分がまだ固まっていないというのが現状です。

(委員) 丸2年経過していますが？

(事務局) 庁内で話し合いをしていますが、皆さんに形として、こんな風というところまでは、企画課といいますか、本庁あと市長を含めまして議論しているところでございます。諮問については、これから市長がどういうことを地域委員会に諮問するかということは、今の時点で私も承知はしてないところが現状でございます。新しい形の組織については、おそらく11月以降になろうかと、今のところ、まだどういうものかという詳細は、皆さんにお知らせすることが、できないのが現状でございます。

(委員) ありがとうございます。これも議会とかでたくさんのがあってこれが抱負になってましてですね 市長も、ここにいる委員の方々から初めて市長さんが自分なりの考えっていうのを前回述べて、全員が参加していないと思いますので、そのことだけでもお伝えされたらどうかというのが一点ですね。

それから我々も昨年ここで会が認められて有志の会に副会長が入って

何回か会議をして、ずっと活動してきました。本人も初めてでしたからそれがもっと早く出されたらもう少し、会が違っていただけというのが、令和4年の2回目に出された区長を中心とした新しい会議のあり方という、あの資料が全然含まれてなく、多分●●さんも知らないことがあり、それはやはり区長さんたちからも非常にそれは困るといった、そういった話が出て、あの辺がきっかけになって話をすればいいと思いましたが、全く昨年の考え方が、この2点だけ。全体が活性化するかと思ひまして、お願いします。

(事務局)　そうですね新しい区長会を中心としたという全体のイメージではございますけれども、その中でも予算を自由に皆さんの方で使えるようにして、それを皆さんで決めていただくという部分が、あくまでも自主的にそれぞれの地域の特色を生かしたものについて新しい組織で行っていくという概ねのところはできていますが、それはその通りに細かく予算配分をして、その決め方はその新しい組織に全部任せるのか、あるいは地域委員会の皆様方が審査をして要望をヒアリングしながら予算配分をしていくのに、審査基準の部分を行政側がある程度作るのかなど、どのようになるかは、まだそこまで決まっていません。

新しい組織の中で予算を自由に使えるというところまではわかりますが、それ以降のところは煮詰まってない部分もございまして、まだ回答することができないのが、現状でございます。

(委員)　ありがとうございます。

(議長)　質問がそこで終わりによろしいですか？

(委員)　また別の機会に、私だけ偏ってはいけませんので、市長にはこの前

(議長)　すいませんお話は、時間もありますので。

(委員)　ありがとうございます。

(議長)　今の話については、ご承知のように社会的な制度的に北杜市が年度内



に大きな行事も抱えているということもあって、その流れの中で対応していかざるを得ない。という読みも必要だと思いますけどこれに対して、これ以上は支所長が返答に困るだけだと思います。よろしくお願ひしたいと思います。他にございませんか

(委員) 昨年も委員を務めさせていただきましたが、それを踏まえて質問と意見です。質問は、今1ページの地域委員は8町地域それぞれ16名以内となっておりますよね。そして1枚めくって2ページの条例には、20名以内とあります。なぜ16名以内となっているのかというのが、質問の一つです。1ページの地域委員会は何をしているのか分らなくて参加させてもらいましたが、1ページの丸のところに非常に携わることが書いてあって、地域委員会とは市民と市が協働してよりよい地域作りを行っていくため、地域の皆さんの知恵の創造の場として8町のもの云々と書いてあります。

これは2ページにも条例でしっかり書いてある。そのことはものすごく大事だと思いますが、具体的なことになると、市長の諮問以外は話してはいけないっていう、去年より本当議論になりましたけども、ほとんどが予算問題だけっていう形になりますよね。それはそっち側で、それでもいいですけど、地域委員会でこの地域をどうやっていくかっていうことは雑談でもいいから、例えば、消防署もなくなるっていうこともこの地域委員会で一言も喋る機会も無く、ちょっと最後の説明があったわけだよね。この中での議論は何もない。そういう地域委員会だったら私はちょっとおかしいと思っています。

ぜひいろんな地域の中の意見を、ここで話し合うということは大切だと思います。以上です。

(事務局) 人数の件ですが、条例上は20名以内というような形で決められております。以内という形になっておりますのでそれを踏まえて明野から武川全町につきましては16名で委員構成をしております。条例上は20名以内ですので、16名で構成しているというのが現状でありますのでご承知の方よろしくお願ひいたします。

(委員) すいません例えば小淵沢のことに限って言えば、どうして16名です

か。

(事務局) 地域委員会が始まったのは合併直後、その当時は20名いました。公募とか学識をやる中で、20名がどういう理由で、20年から16名になったってことまではちょっと、その当時でないとあれですが。

20名は、今から10年ぐらい前に4名を減らし、16名で構成をしているということが、実情でございます。

(議長) 委員いいですか。

(委員) はい。

(議長) ちょっと質問の趣旨がよく見えませんでした。

(委員) ちょっとそういうことだったら趣旨も。地域委員会が地域の人の意見を反映させますが20名であれば、多い方がいいわけですよ。大勢の意見も反映できるわけですよ。

(会長) 必ずしもそうだとは思わない。

(委員) そうじゃない。多い方がいい。だから公募とかそういうのが少ないからそうなっているのかなと。私はそうなのかなと。考え方っていうか、でも意見が多い方が、皆さん知っていると思いますが、これは当たり前のことだと。

(議長) 他にご意見はございますか、無いようですので、次の議題に予算書提案事業について事務局から説明をお願いします。

(事務局) それでは議題(2)の小淵沢地域委員会予算使途提案事業について説明いたします資料の3ページの方をお開きください。令和5年度の状況およびですね6年度予算について説明いたします。

令和5年度につきましては14事業が予算化されまして約86%の執行率となっております。ほぼ予定通り事業を進めましたが社会福祉協議会が

事業主体のボランティア活動事業につきましては、コロナ対策により中止となっております。次に、令和6年度予算の編成につきましては昨年12月に第3回の小淵沢地域委員会におきまして委員各位が審査委員となっただきまして、地域委員会の使途提案事業補助金を活用し、事業を希望しています団体から10分程度事業の内容や、聞き取り質問を行いました。それに基づきまして、地域委員が審査し予算配分を行った金額となっております。令和6年度事業につきましてはホームページ等で周知を行い、4事業が新規事業となっております。また令和7年度予算につきましても、今年4月に発行しました地域委員だより、令和7年度予算使途提案事業の補助金の活用について告知の方も行って状況でございます。令和6年度の申請状況ですが、今日現在、全ての団体から補助金の申請の書の提出がありましたので、事業につきましては予定通り活動が進んでことを、説明し議題の(2)の説明については終了させていただきます。ありがとうございました。

(議長) 前年度に皆さんで知恵を絞って、それから担当の皆さんにもおいでいただいて活動内容を振り返り、予算づけをしました。そのことについて事務局からお話でしたが、ご意見ご質問ございますか。

(委員) 一つ。質問をするときは、まとめて手短かに皆さんやりましょう。ということはずまいです。  
予算づけをするときにちょっと私は出られませんでした。15番の小淵沢東小学校校歌保存事業とはどういうものか内容と説明と代表者を教えていただけたら。

(事務局) こちらは、旧小淵沢東小学校の校歌を、後世に残すための事業です。小淵沢保育園に跡地の碑があります、跡地の碑の裏に、校歌のプレートにはめ込むという事業となっております。事業主体につきましては上笹尾老人クラブとなっております。以上です。

(議長) 追加の質問はよろしいですか。はいありがとうございます。最初の、ご意見いいですね。質問は要領よく全体のバランスを考えて進みましょう。それでは、次の議題にいきますか。

先ほどの委員さんのことをよくお考えいただき、答えを伝えたいと思います。どうぞ。

(委員) 先ほど手を上げられなかったけど、小淵沢町地域委員会は3回開催されました。画期的なものとして確か2回目の時にベースを、会長が3回もきちんとかうしましょうというのが、昨年これを審議する場で、いろいろ議論をした。それは次回ちゃんとするんですよ、議論させてくださいということで、それでこの進め方の改革がなされました。大変いい感じで予算できると思います。

そこで大きな議案というのが2つで、この事業計画の確認と地域委員会のあり方ってということで、前回会議にたくさん意見が出て、そのときに一つのやり方で、この委員会をしっかりときちんとしてPDCAを回しましょうということ、前回はこれまでどういったことが課題になって新しいと思ったら、それを端的にお伝えして、そしてこの時、継続的にそれを議論して高めていきたいと思いますということが議論されて、今回はその開催前に課長さんにそういったことをお願いしたけど、これ大きな二つの方法で、ちょっとそれが今反映されませんから簡単に私リキャップしてありますけど。

(議長) 長いです。お上手で流れるように本当にかっこいいのですが、あまり残ってこない。とにかく的確にお願いします。

(委員) じゃあこの二つの地域のあり方とそれから計画について昨年の内容をリキャップしたものをお配りしたと思いますので、皆さん簡単に目を通していただけたら、この会が活性化されると思って、それをお願いしたいと思ひまして資料を準備いたしました。

(議長) 資料をここで皆さんに配るといいますか。

(委員) 簡単に今の地域委員会ことについて意見を述べたいということで。

(議長) 事務局の方には事前にそれを話してありますか

(委員) 事務局の方には、その他のところでお話しようと思って、できませんでしたから、今回はこの場がいいと思ってですね、

(議長) それははっきり言って困ります。議事の進行に変更を加えることになりそうな気がします。大変申し訳ありませんが、それは別途の問題としてお考えいただけませんか？この場で議論できることはしたいです。

(委員) はい、あの議論の中のたたき台を持ってきました。

(議長) たたき台とするならそれで突然に出すのではなくて、事前に事務局に話を通して進めていくのがこの筋ではないかなと思いますが、皆さんいかがですか。

(委員) このような認識でずっと今までやってきましたが、事務局さんの方がそれを直前で拒否した、受け付けないような状態に。

(議長) 拒否をするには、急遽するというのは何か理由があるのではと思います。というふうに考えますが一般的にはいかがですか、それはどうしても、それを強行するつもりですか。

(委員) 強行とかそういうことではなくて、支所長さんが新しい。

(議長) 今ここで話をする？とりあえず引き下げるという考え方はありませんか。

(委員) 引き下げ。年に2回しか開催されないということで、次がまたということであればやはりここで、1回皆さんで去年の1回だけの

(議長) 突然その文章を回すというのは、今回こういう会議では多分ないと思います。それは事務局に事前にそういうお話をした上で、必要があれば事務局でプリントして配布する。それがやっぱり物事をオーソライズされた進め方ではないでしょうか？熱意さは本当に感じますよ。いつもあなたには本当に感心します。だが、その熱意は、皆さんにそのまま伝わ

るとは、私は確信できません。ですから、今その文章をまず前回の会議の議題に変えたらね、会議の文書を突然回されましたけどそれは本来やるべきじゃないし、今後もそういうあと2回とか3回会議になろうかと思いますが、今後そういうことをされるのであれば、そのようなつもりで私も会を進めなければならない。いかがですか。

(委員) わかりました。まだ所長さんの方に引き継ぎがきちんとされていればいいと思いましたが、まだ十分な引継ぎがないような感じでしたので、私はやはり全体のためにこれが必要だと思いましたけど。

(議長) 大変申し訳ありませんが、昨年1年間の経緯を拝見した上で、あえて大変僭越ながら申し上げました。どうぞお許してください。

(委員) はい。

(議長) よろしく申し上げます。次の議題に入りますが、質問はよろしいですか。次に進みましょう、事務局次をお願いします。

(事務局) (3) 地域委員会研修について話しをしたいと思います。事務局としまして地域委員会に於いて、地域を知っていただきたいということも思いますので、研修会の開催を提案したいと思います。皆さん小湍沢町内に居住していますが、北杜市内でも訪問してない名所や施設が存在すると思います。

今回、複数の見学場所案から、2ヶ所から3ヶ所を選んでいただいて現地を訪問していただいて新たな発見、また新たないい方向に進んでいけばいいと思ひまして研修を企画させていただきました。日程は基本多くの方が参加できるように土曜日から日曜日に行いたいと考えますが、相手側の都合もございませう。その点につきましてはご承知の方お願いいたします。

委員の皆様につきましてはこちらの研修会の実施の可否および実施する場所の選定をお願いしたいと考えていますが、ちょっと事務局でいくつか挙げさせていただきました。

まず一つ目としては北杜市の八ヶ岳スケートセンターです。

次に防災倉庫としまして小学校グラウンドにある防災倉庫と中学校の防災備蓄倉庫です。

次に企業で見学させていただけるかどうかはちょっとわかりませんが、例えば株式会社アルソアの女神の森とかウェルネスガーデン。

それから皆さんご存知かもしれませんが帝京第三高校のサッカー専用グラウンド。帝京につきましては昨年、高校サッカー全国大会が出場したチームであり、このグラウンドも皆さん見ていただければと思います。

また場所はちょっと白州町になりますが飲料水兼用型耐震貯水槽というものもございます。こちらは水道施設の名前のおり貯水水槽と兼用になっている施設になります。本来水道管は一本で各家庭まで流れておりますが、こちらの施設につきましては水道管があり、入る方と排出の方がある、貯水槽になっております。大地震の場合は遮断弁が下がりますして、飲料水を確保する大きなタンクとなっております。

普通の消防用の施設であれば、水の循環は無く、水がなくなれば補水をするというような形で飲み水としては使えません。見学する貯水槽は通常、水道管が繋いでありますのでタンク内は常時新鮮な水になっております。もし地震があれば遮断弁で、こちらの方が止まるという形で貯水槽の上には取り出し口がありまして、そちらから飲料用して使えます。私の認識では、確か10日間6000人ぐらいが使えるようなタンクとなっております。また、普段は防火水槽、消火栓としても使えます。圧がかかっていますので、1つは消火栓、もう1つは飲料水の取り出し口というような施設がありますので参考に入れさせていただきました。

また最後ですが、まだ建設の途中ですが、10月完成予定の蕪崎消防署白州分署なども、見学箇所案に入れさせていただきましたので、皆様方につきましてはこちらの研修を実施するかの可否および見学場所について決めていただければと思います。以上です。

(議長)      ありがとうございます。この話は個人としては、大変面白い話だと思えます。こういう活動を一緒に皆さんですることによって、実はよくわからないチームワークみたいなことが少しは生まれるのではないかという気がします。個人的な意見ですが。皆さんのご意見を伺いたいと思えます。

(副会長) 1つ聞ききますが、10月完成予定というのは来年の10月？

(事務局) 今年10月です。当初は7月の完成予定ですが、ちょっと工期が遅れているということです。

(副会長) 消防署ができるというような形になれば、私達もちょっと消防の方とお話し合いをして、この辺のところから遠ざかってしまいますので、いろいろな形で地域委員の方と一緒に説明は受けたいと思いますけれども、よかったらそのような形をとっていただければありがたいと思います。

(事務局) はい、ありがとうございます

(委員) 研修会ということで、例えば県の馬術競技場を、改修されてその辺も見たりすることもいいのでは、と思います。また小淵沢保育園が新しく、私も前は通過したことがあります、中を見たことがないということでそういったことも一つ検討してはどうかということです。それからちょっと耳にしましたが、旧保育園を、市の方でどういうふうに関後使用するのか、これ東西保育園の跡地があります。

(議長) ありがとうございます。この内容を見ると防災関係と、今井さんも言ったような新しい施設にといったお話のようになってきそうな気がします。この問題については皆さん特にご意見何かありませんか。

(委員) 地域委員会として何を研修するっていうことを考えたときに、目的が確かありましたよね、よりよい地域作りと書いてありますので、それに関連するのであれば、いいかなと思います。ただ施設だけ見て、例えばサッカーグラウンドは、行ってただ見ただけでなくなってしまっていますので、研修目的をしっかりと捉えた上でやった方が良く感じました。

(議長) どうもありがとうございます個人的に言いますと帝京のサッカーグラウンドは私の地域ですけど、行ってみたら無駄ですね。やはり地域委員会



として訪ねるわけですから、先方さんもそれなりの対応を余儀なくされるということを考えていただいで進めていきたいと思いますが、他にご意見ありませんか。ちょっとこの話に少し時間を使いたいなと思っていました。

(委員) 個人的な意見ですけれども薬用植物園がシミックというネーミングライツになったとありますよね。今シミックってキースヘリングの社長さんですか。すごい増えています、何をしている会社かわかんないということが一つあったので。アルソアさんって結構皆さんご存知かと思うので。そういうのもちょっと。昔、私が転入の時、薬用植物園は県営。一旦、ネーミングライツで提案を断ったわけですね。中身は変わらないが、前は結構お客さん来ていました。今あんまり来ている様子ではないので、どうなっているのかな？ということと、シミックという会社がちょっと気になりました。これは多分あくまでも私が知らないだけなのかもしれませんが、ちょっと出ささせていただきました。

(議長) せっかくのお話なので、私の拙い知識で言うと、シミックは最近すごいです。特に篠原とそれから大東豊のエリアは大変な物件の数、薬用植物園については県営だと思いますけど、多分ネーミングライツですよ。名前だけを使っていると思います。私のすぐ近くに大きな民宿があって、それと長い間変わりませんでした。最近シミックのウェルビーイング施設というのができて、従業員も関連する人たちがそこで快適な時間を過ごす施設があります。それから昔、なんだっけ？水道施設の蛇口（バルブ）を製造の会社があった。

(事務局) キッツ。

(議長) キッツの研修センターでしたが、キッツが撤退して、やはりシミックがそこを買って、当然やはり大変長い期間と大変なお金をかけて、直して利用し、それから同じ通り沿いに犬の病院と老犬施設のような施設を作って、基本的には動物を使った薬の試験をして受託試験のようなことをしていると聞いていますけど、そういう事業がメインで、大きさ関係では、大変アルソアさんと二分する大きな活動をしていると聞きました。

た。すいません余談でした。

この議案につきましては、おおむね皆さんどうぞ賛成ですか反対ですか、その辺は全部皆さんの意見から聞こえてきませんが、そんなものやらなくてもいいだろうというふうに思っているのか、またやった方がいいというふうに思っているのか、すいません全く見えません。何かありませんか。

(委員) 個人的にいいと思いますが、今年の場合は元旦にあった能登の地震がありました。この提案箇所を見ても防災倉庫や飲料水兼用型耐震貯水槽は消防署等と連絡を取る中で、災害時の対応の仕方に対する考え方、見ればいいのかというふうには思ったところです。やはり行政と地域との繋がりところは区の本来的な目的ですので、そういう意味合いからすると、地域住民の方が行政との繋がりの中でどうすればうまく繋げるかっていうことが今日、この地域委員みたいな全く同じような意味合いだろうな、というふうに思っているところです

その中で、私はそういう災害、特に温暖化だとか異常気象で、変動が激しいので、それについてもうちょっと真剣に考えておいた方がいいのかなというのを認識としてありますので、継続的に研修できる箇所があればというふうに思っているところです。

(議長) はい、ありがとうございます。

事務局の皆さん、地域委員会の委員の皆様は割と控えめな方がいますけど一つ伺いすると、中々やっぱりちゃんとしたお考えをお持ちです。なんとなく賛成だと思いますので、今のような防災に関係したことも含めて、せっかくのいい案を前に進めていただいてもいいですよ。具体的なところが決まりましたら、ぜひまたご案内をいただいて、一緒に研修をしていただければと思いますがよろしく願いいたします。ありがとうございます。

(事務局) それでは皆さん研修を行うという形で進めさせていただきたいと思えます。葦崎消防署管轄の白州分署でございますが10月完成予定という形ですので、例えば防災の関係については10月以降の完成なので11月ぐらいで、その他、例えば2回に分けて、暖かい時期の夏に保育園の

見学とか、薬用シミツクさんとかその辺をちょっと聞いてみたいと思いますので、また都合を合わせていただいで参加いただければと考えております。そのような予定でよろしいでしょうか？また詳細の内容については会長、副会長にもまた相談をしていただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

(議長) ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

委員の皆様のお声がありましたら、ぜひ積極的に行きましょう。実を言うと、民生委員を私以前やっていましたが、結構研修へ行きます。中々いいですね、いい歳をして、こんなこと知らなかったことがたくさんあります。ですから、ぜひ行きましょう。

では続きまして第4号議案地域委員会だより編集委員の選出について事務局説明をお願いします。

(事務局) お手元の資料5ページの方をご覧ください。小淵沢地域委員会だより編集委員選出について説明させていただきます。

毎年、地域委員だよりを発行しているわけですが、より良い内容にするために事務局だけではなく、委員の方にも編集に携わっていただきたいと思ひます。令和5年度につきましても、宮沢副会長・深沢委員にご協力いただきまして4月25日の区長文書に合わせて、皆さんにお配りさせてたたまきました、また図書館も置かしていただいている状況です。

ぜひ続けたいと思ひますので今年度につきましても2名の方のご協力をよろしくお願ひいたします。以上です。

(議長) これは、どうやって選んだら良いでしょうか？立候補ですか？

(事務局) まず議題の資料5ページにあります。会長・副会長は最終原稿の確認をお願いしたいと思ひますので、藤代会長と宮沢副会長につきましても最終原案、また最終とは言わず原稿もお見せしますので、また構成についてアドバイスをしていただければと思ひます。

その前に事務局が入ります。その他、本日立候補していただければと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

(議 長) さあ、立候補ということですけどどなたか。そういうときはみんな下を見きますね。調べても何も書いてないと思いますけど。

これは前やっていたいただいた副会長から誰々どうだって言ってもらう方が早いと思って

(副会長) そうですね。ぜひ我が言う方が出ていただければ一番ありがたいんですけども、本当にどうでしょうか？

(委 員) 今回出したような形？今回届いたじゃないですか。そのような形？それとも全く変えちゃうとか

(事務局) その辺は決めていただいて構いません。

(議 長) だいたいいつもワンパターン。どうですか？

(委 員) 私は副会長の時に1回しましたが、そのときはもう本当に最初に地域委員っていう説明があって予算があってそして写真とかも今回と同じような形で。

(事務局) 今年度は、各地域委員会予算事業補助金を出している団体ですね、3つの団体で久保とか、観光協会とか、文面については個々に記事の依頼をして、書いていただきました。また先ほど説明しましたが、この補助金の周知をその場で使い、今年度の事業はこうです6年度の事業についてはこうですというような形のものになっておりますので、こだわらず新しいものを作りたいということであれば、編集の中で議論していただければと考えております。

(議 長) 本当に皆さんいませんか。どうですか？

(委 員) 申し訳ございません、私はちょっと参加できません。理由が必要でしたら、述べたいと思います。

(委 員) いいです。

(委員) すいません。

(議長) 今井さん、頑張って。申し訳ないけど。もうひとつ方。

(委員) いなかったらやりますよ。

(議長) 重ねてお願い申し上げます。今井委員と深澤委員でお願いしたいと思いますが、事務局も特に異論ありませんね。

(事務局) はい、よろしく願いいたします。

(議長) ありがとうございます。(一同拍手) 議事に対応できます。  
それでは最後の案件、この他、事務局の方からも含めていかがでしょうか？

(事務局) はい。その他につきまして、本庁の企画部管財課より、指定管理者の選定委員ということで地域委員会からは市民代表ということで、選出を願いたいというご依頼がきております。

前回ですが、今までの他の地区から言いますと基本的には地域委員会の会長さんまたは副会長さんが選出されているようでございます。

会議は年5回ぐらい、会議があるようでございます。5回という会議は本年度に何施設終期が来るかとか、それによって大きく変わりますが、今年度は7施設でございます。担当にも聞いたところ、昨年5回ですが、今年度はどの程度か聞いたところ、応募にもよりますが、多分2、3回ぐらいとのこと。選定会議は、丸1日かかってしまい、9時から5時です。そういう内容ですので、会長さんを推薦したいところですが、みなさんいかがでしょうか。よろしいでしょうか？

会長さんもいかがでしょうか？

(議長) わかりました。

(事務局) すいませんありがとうございますよろしく願いいたします。

(事務局) もう1つですが、これは1つ連絡事項で、会長・副会長につきましては市の地域委員連絡協議会の会議が来週の5月21日になります。時間は15時30分になります。もう既に通知が発送されていますが、小淵沢は今日改めて会長、副会長を決めるということで、また企画の方には報告し通知を送らせていただきます。日が短いので、私が企画に取りに行ってお届けしますので、ちょっと予定を入れておいていただければと思います。

(議長) 大丈夫です。3時半ですね。

(支所長) そうですね、一応3時半ということになっております。

(議長) 足は。

(事務局) 私の方で一緒に行きますので、迎えにいきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(議長) できれば2人出た方がいいですよ。

(事務局) もし最悪でも、会長さんに出てください、若干会議の中で今年度の予定というか、事業概要について簡単な説明をしていただきます。

説明文はこちらで作りますので、よろしくお願ひしたいと思います。

最後ですけれども今年度は任期としては最後ですけど、来年令和7年度は1年だけという予定になっております。こちらとしましては、団体の方は、任期等がありまして変わってしまうということもあります。また学識者、公募者の方もそれぞれの、都合や体調など、色々事情もあろうかと思いますが、最後の1年ですので、出来れば残っていただければ、新しい組織ができたときにご意見等も頂戴できるかなと思っております。まだ年度初めなので、またその時期がきましたら、またお話ししたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。以上でございます。

(議長) ありがとうございます皆さんの方から何か。

(委員) すいません簡単にと言われたのにあれですが、実は交通の問題でお願いの話を見せてもらうということです。小淵沢では公共交通のことに關して小淵沢公共交通運営委員会があります。昨年度は●●さんんかが会長になっていろいろ進めさして今年は私も役員をやっていて、区長会長さんも入っていただいて、色々行っております。ご存知のように、小淵沢にはスーパーがないので他の市町村と違ってですね、買い物に行くということになりますと長坂か富士見に行かなければならない、しかし今の小淵沢に走っているデマンドバスは、小淵沢の地域内だけなので。それを何とか長坂へ直行してもらいたいということを企画の方にお願いして、今度4月から長坂への直行便が出ました。1日2便、往復4便出て、皆さん、新聞の織り込みがあるかわかりませんが、直行便ができましたので、ぜひ使っていただきたいということを皆さんにお知らせしていただけたらありがたいと思います。市の企画課からのお知らせ5月？

(事務局) 多分直接連絡したと思いますが、私が聞いた範囲は5月というのを聞いております。おそらく5月の回覧、5月広報と一緒にかなと思います。

(委員) 回覧板で各地区へ参りますけれども、それをぜひ見ていただいて利用していただきたいと思います。そのことと関わって、この機会ですから、先ほど言いましたように小淵沢にはスーパーがなく、買い物に不便なところはありますが、スーパーに行けばデマンドバス、小淵沢を走ってるデマンドバスでちょっとコースを変えたりしますけど。新聞なんか言っているように、どんな状況かっていうのをちょっと教えていただきたいというような気がします。以上、公共交通のことについて連絡させていただきました。

(議長) ありがとうございます事務局の方から何か。

(事務局) 一旦そのショッピングセンターのことですが、基本的に、市は許可権者ではございません。出店会社の方につきましても、県の方の林地開発の申請を出している状況でございますので、そちらの状況について新聞

報道では申請の方を一度取り下げたという話でございますので、それ以後の申請につきましての情報については入っておりません。以上です。

(議長) はい。どうぞ。

(委員) 先ほど議題の中で大変失礼しました。1点決めていただきたいところですね。確認をしたいことで、先ほど私個人的な話し合いはここにおられる今4名、会長が変わりましたので4名の方がここに入って、何回か有志の会という、これは名前が非常に悪かったと思いますけど、第1回るときこの会が認められて正式な活動しました。

何回かやって、最後に今年度継続するかどうかというのは、また今年度に決めていただくといった形でその時に最終確認しまして、1年間あいった活動して今後するかしないかを決めていただきたいというのがまず1点です。2点目は、先ほどこの資料は全部公開情報をリキャップしてまとめたもので、せっかく紙に用意し勿体ないので、ちょっと見ていただいて、ご意見とかいただければありがたいなというこちらのお願いでございます。はい、以上でございます。

(議長) ありがとうございます。今、委員からのお話で何でしたっけ、何とか会？

(委員) これは団体の副会長さんがメンバーですけど、有志の会で第1回目で決まった会名称がちょっと。

(議長) 有志の会というのは、有志の会に入っていないのは、有志が無い人の集まりということになるけど。

(委員) ですから、名称がやはり。

(議長) ちょっと待ってください。今、地域委員会という会議を開いていて、会議を開いて、その地域委員会の中で誰も有志の会を承認はしていません、公式にも。集まって話をするのは全く自由だと思いますけれども、私はそのとき思いました、あれは全く別の集まりであって、地域委員会



にそれを必要と考えていると私は理解できない。なぜこの場でちゃんとした話し合いができないのか、なぜ別に有志の会というものを設けなきゃいけないのか。

(委員) はい答えます。これは議事録を確認していただければわかりますように、会長が趣旨を話して、それでこれに賛同して少人数でもいいから資料をもあって小委員会ということですけど、それは先ほど有志の会ってという言葉がやはり問題があったと思います。これも1回目でそれを作るということが、皆さんの異議もなく正式に決まったことで議長の方もご存じだと思います。

(議長) あれは議題の中で進めた内容ではなくて、会議終了時に話したことですね。私はそういう認識です。ですから、それに対して賛成も反対もしてないのは当然のことです。

(委員) 議事録を確認されるとそれもまとめてあります。

(議長) 事務局はそれを承知の上でそういう議事録を残したのですかな、でなければ記事の訂正をお願いしたい。

(委員) これは前支所長ともうそのような会があるということは認めてそれについての報告を受けたことで、その辺がうまくかみ合わなかったということがありましたけど、認められることで。

(議長) 大変上手にお話するけれども、会議の中で、有志の会についての話については、前の支所長は、拒否していましたよね会議で。今すべきではないという話をしていました。それが、支所長は認めたという言い方をするのですか。それは欺瞞じゃないかな。事実在即して冷静にちゃんと判断してもらいたい。

(委員) 事実通り私はいいと。

(議長) 私はその事実は認められない。

(委員) 要するにそれは正式ではないから認められないっていう議長様判断と皆さんの同意があればそこで7回活動した旨にはしないとあったことでそれは継続しなくてはならないという。

(議長) 今、そういう話として今私は会長として、あえて意見を申しあげます。地域委員会の小淵沢地域委員会の会長として私の意見です。つまりそういう別の活動をするということは、それがいい方向で進んでいるなら全く問題ありません。それはそれで良いです。ただ地域委員会に持つてくる必要はない。地域委員会の中でなぜそれができないのか。なぜ別の組織として作っていかねばいかなければいけないのか。そこが理解できないので、私は不賛成ということ伝えて。

(委員) 議長させていただきこと決議事項ができますよ。間違いなく少し議長は議会の1回目の時に決まって、でその活動を皆さんに報告して皆さんから意見を聞いてまた増やしましょうと言った、そういった相談をずっとしてきまして、ぜひその辺のところは理解をして下さい。これは私個人の話であって、地域委員の方に申し訳ないですが。

(議長) 十分に理解はしています。

(委員) また会長・副会長の方が変わったことですから、ご検討いただければありがたいと思います。

(議長) 検討はしません。

(委員) ちょっといいですか。

(議長) 議長の意見を無視しないでもらいたい。この話は必要ないと申し上げ、なぜそれに言うだけの理屈があるのですか。

(委員) 会長さんそれはちょっと独断じゃないですか、もうちょっと皆さんの意見も。

(議 長) 皆さんの意見を聞きますよ。

(委 員) このお話は新しい人たちがいるので、経緯がわからなければ皆さんの意見は聞いた方がいいね。

(議 長) 皆さんの意見は聞きますよ。

(委 員) 前の●●さんは、地域委員会を活性化させるためにどうしたらいいかっていうことを最初の人にやった話ですよ。どうしたらが地域委員会の活性化するかっていうのを提案しました。それは今のような状況で、なかなか全員了解なかったから、部分的に●●さんを中心にやられたってことじゃないかと。

(委 員) 反対はなくて、そこで決まりました。

(委 員) そこは初めての人たちがいるから、ぜひその前会長さんの意図は、うんと深い部分があったと思います。私は地域委員会はどうしたらいいのかということで、その事実はおかしいと思います。

(委 員) 議事録公開のものを全部まとめてありますが、ぜひ皆さんに見ていただいてまた次に繋げたいと思いますのでよろしく願いいたします。議長が認める、認めないということじゃなくて、ぜひ皆さん目を通して特に新しい方に、また議長冒頭に話した目的感というのが地域委員の活性化、地域の活性化ということで、スタートした昨年で認められた方の活動ですので、なかなかうまくいかなかったと思いますけど、よろしく願いいたします。

(議 長) このことで誰か他にご意見ありますか。

(委 員) はい。今の議論を聞いて、議長はちょっと横暴ですね。人の意見を聞かないってそれはもう過去のことだということはないです。それで、なぜ私たちが地域委員会の活動をやろうということになったかという、やはり地域委員会はちょっと形骸化して、意見が市に言えないっ

ていうか、ただ追行するというような形でした。それじゃおかしいだろうということいろいろ議論を重ねてきたわけで、それを頭からこれは駄目だっていうのがちょっとおかしいと私は思います。市の方が地域委員会をどうすれば活性化するかっていうのが、なかなか結論が出てこない。先ほどの視察もいいでしょう。私は賛成ですけどもだからと言って視察をしてどうか。というところが見えてきますよね。見たらか意見を言えるのか？そうじゃないですよ。だからなかなかそこが地域委員会のジレンマといいますかね、ちょっと物足りないです。そこを地域委員会も来年度にもなくなるってということになりますから、無くなるのだったらまた他の組織にして地域の声を聞けるような会議に持っていかないと全然前進しないと思いますけどもそこのお話し合いはできないですかね。

(議長) ありがとうございます。●●さんね、●●さんとそれから●●さん、●●さんがあなた方のおっしゃる通り私もそういう独断的な発言をしました。それについては謝りたいと思います。ただ一つ言えることは、考え方の基本は必要です。また今日挨拶で申し上げたように、地域委員会を形骸化して活発さが全くないし、活動らしい活動も見えない。つまらんボランティア活動でもやろうよと言ってもそれもやろうという動きも出てこない。その中で一つ疑問なのは、なぜこの会議の場で、事務局つまり支所長以下、市役所の主だった人たちもいる中で話し合いができないのか、そこに疑問を感じます私は。やはり堂々と話ができ、有志の会という名目で外れた場所で集まって話をすることではないと思う。だからこそ、そこでまとまった書類は受け付けてもらえなかった。正面からやるべきですよ。こういう場でこの場で話し合いを持っていくべきだと私は考えます。

(委員) 議長少し暴言です。きちんと支所長には何回か、課長にも通しています。その都度何回も何回もずっと説明し、それから仲間にも途中から入っていただき、スタートは、やはり支所の人たちが入るよりかは、我々委員の中での方がいいだろうという会長の強い意向で、それは正解だと思います。そこから始めて、その後支所の方々に意見を聞こうという、全くゼロからでしたからそういった段取りをしたというのが事実

と、あと1点だけ市長が北杜は一つだから地域委員は委員会もいらな  
いといったことじゃなくて、やはり他の地域委員の他の市町村の方々も北  
杜は1つ、プラス各市町村がしっかり活性化することが、この広い面積  
での北杜市のあり方だねっていう、そういったことが我々の意見の集約  
でもございました。いろいろ身近な問題を取り上げて、もっと身近ない  
ろんなことをここで議論して、しっかり地域の町の方々にそれを伝えて  
意見を聞くというのが、地域委員会の今回の役割じゃないかっていうよ  
うな意見を重ねてきたということで、市長に、あんまりまだ話が。きち  
っとその都度、支所長には相談し全ての記録がありますから、必要でし  
たら公開いたします。以上です。

(議長) 他の皆さんにはご意見はないですか。

(委員) 地域委員会の中でいろいろ議論すべきと思います。やはりあの少人  
数、小人の方で地域委員会の今後のあり方、そういうのはいいですよ。  
その方々でぜひそういう活動をして、市の方に提案するのがいいと思い  
ます。ただ地域委員会としてまた整理整頓して、市の方に声を上げてい  
くということがあります。だから私も今までの地域委員に出て、形骸化  
しているのは、だんだんわかってきて、やはりこれ地域の、先ほど私も  
保育園の話をしました。やはり地域の課題や問題になることを皆さん  
で話し合っ、色々よきものにしていこうというのが、本来の姿かなと  
思います。だから今まで市長の市からの諮問に対しての答申を出すって  
いうようなそんな言葉、正直ほとんどなかったような気がしますよね。  
だから、そういう面からすると、これから新たな地域委員会を作るので  
あれば、ぜひ今、議論にされていると思いますが、やはり地域の要望を  
踏まえて運営ができるような組織に変更してもらいたいし、また  
区長さんを中心にした組織ということになりますよね。役職柄、非常に  
いろいろの仕事をあります。そこに就いている方、大変だと思います。  
そういうことを、ちょっと加味して組織の編成は考え、やっていって  
いただきたいなと思います。整理整頓がうまくいきませんが、自分の今の  
気持ちです。以上です。

(委員) ●●さんありがとうございます。●●さん、1つ誤解していただき

くないのは、なかなか、この人数で議論するのが難しくても今日もそういう部分がありまして。それで●●前会長が、皆さんまず集まって、そこで1回素案を作って、この地域委員会に出しましょうということで、第2回目の準備をしたし、3回目も準備してから、そういうステップをしないと多分、ぱっと来て言っても進まなくて、●●さんが言ったような後のことの議論、本当に一番必要な議論のことをどうやって進めていくのかということが何もなくて、またこれ秋になるといった、それはないよねっていうことで来たということだけは、ちょっとご理解をいただきたいと思います。

(議長) この話は出尽くしましたか。なければ、これでその他の案件についても終わりにしたいと思います。では、事務局の方でお願いします。

(事務局) 本日は皆さん意見の方をいただきありがとうございます。皆さんの思いは、やはり小淵沢を良くするために、どうしたらいいかなということが、一番思っていることだと思いますのでこれからも、よろしく願いいたします。それでは閉会の言葉につきまして副会長にお願いしたいと思います。よろしく願いします。

(副会長) 長時間にわたりまして本当に素晴らしい意見も出ました。私達も今年度またやっていくわけですが、去年から何というか、予算が付いた事業の方々にも非常に喜ばれております。今回この会議の席でも委員の皆さんに会いましたら、よろしくお伝えくださいという、お言葉をいただいております。非常に新しい予算の作り方をいたしました。これを1年かけて、成功に向けて行きたいと思います。また色々な過程が今日もございました、また事務局・執行部とご相談させていただきまして、皆さんにはご協力を頂きたいと思っております。本日は長時間いろいろありがとうございました。よろしく願いします。

(事務局) ありがとうございました。それでは相互に挨拶をして閉会されます、ご起立をお願いいたします。相互に礼。

(一同) ありがとうございました。

7 閉会

20時45分